

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年10月8日

2002年10月6日現在：

この1週間の気温は平年を下回り、北中央地区では最高気温は58～72度であった。最低気温は21～23度Fを記録した。小麦地帯では降水に恵まれ、1週間の降水量は0.03～0.35インチ、ウイラメット盆地では0.40～1.39インチを記録した。土壌水分は多少改善されたが、小麦の播種には不十分な水分である。乾燥した圃場に2003年産冬小麦の播種が続けられている。ウマテイラ郡では降雨を待たずに乾燥圃場への“Dust-in”が行われている。モロー郡では10月末から11月中旬まで播種を控える農家もある。シャーマン郡では9月29日に強風があり、乾燥圃場の表土を吹き飛ばした。10月3日に多少の降水があり播種完了の圃場に多少の潤いを与えた。ウイラメット盆地では、降水の後冬小麦の播種が順調に進んでいる。全州の播種状況は平年より遅れており、出芽も遅れている。

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	42	44	14	0
Subsoil (%)	54	36	10	0

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5 - yr Ave.
Winter wheat				
Seeded (%)	22	13	36	33
Emerged (%)	4	2	22	15

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

2002年8月1日付け農務省発表の冬小麦の生産量予想では、7月1日と全く同じである。単収40.0bu/ac(6月1日:47.0bu/ac)、収穫面積750,000エーカー、収量30,000,000ブッシェルである。春小麦の生産量予想は、7月1日より下向修正となり、単収25.0Bu/ac(7月1日:27.0bu/ac、昨年:30.0bu/ac)、収穫面積予想:155,000エーカー(昨年:175,000エーカー)、収穫量:3,875,000ブッシェル(昨年:5,250,000ブッシェル)となっている。